

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	若者対象コース		
事業名	専修学校を活用した就業能力向上支援事業		
法人名	学校法人コア学園		
学校名	秋田経理情報専門学校		
代表者	理事長 児玉 隆次	担当者 連絡先	小杉 咲子 Tel 018-865-0188
1. 事業の目的			
<p>企業にとっては、今やインターネットは広告であり、営業手段のひとつでもある。このようにIT業界のみならず、一般企業においてもWeb技術活用の重要性が格段に高まっているが、地方は社内にWeb系の技術者が不足している。一方、Web技術者志向の若者は、地方においても一定数存在するが、専門的スキル及び就職基礎力やヒューマンスキルの不足が要因となって、就業のチャンスを獲得できないケースが少なくない。</p> <p>学習の場が限られている地方のWeb技術者を目指す若者に、地元及び県外の企業・業界団体の協力を得ながら、より専門的で実践的な学習機会を提供することを目的とする。</p> <p>加えて受講生には、就職意欲を高めるためのキャリア教育をおこない、現実的に就業の機会を得させるために、社会常識やヒューマンスキル向上のための教育も実施する。</p> <p>講座開設に当たり、受講者満足度70%、受講者の就職率60%を目標とした。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>Web技術の知識を短期間で学び、成果発表を実施した。また、キャリア支援講座、企業見学、インターンシップをカリキュラムに組み込み、職業能力の向上を図る内容とした。</p> <p>●開設講座数 : 1講座 ●総授業時間数 : 179時間 ●開設期間 : 10月5日～11月10日（32日間） ●講座内容</p> <p>＜専門分野＞ Webスキルアップ 108時間 特別講座 12時間 成果発表 3時間</p> <p>＜支援分野＞ キャリア支援 23時間 インターンシップ 30時間（6時間×5日間） 企業見学 3時間</p> <p>講座終了後、就職活動における面談や電話での相談を実施した。</p>			

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

受講者募集に当たっては、主に下記の方法を用いて行った。

1. 新聞広告（8月16日、9月2日の2回掲載）
2. ポスター&チラシの配布（8月20日～9月10日）
3. 学校ホームページ掲載（8月10日）

効果： ①チラシ36.8% ②新聞広告26.3% ③ポスター15.8%

応募状況は定員15人のところ、23人の応募があったため、書類審査および面接を実施し、特に意欲の高い人を受講対象者とした。

③受講者の状況

受講者15人の内訳は下記のとおりである。

男性4人、女性11人

年齢層は20代6人／30代9人

いずれも受講開始時点では定職に就いていないとのことであった。

④受講者の意識調査等

受講者満足度は下記のとおりであり、77%が満足という結果となった。

大変満足：1人（8%） 満足：9人（69%） 普通：3人（23%）

不満：0人 大変不満：0人

⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

受講者13人中（途中退講2人）、7人が規定に達したため、修了証を交付した。修了者の2人が起業予定、11人が就職希望者であり、就職活動を行い、5人が就職し、現在6人が活動中である。（就職率45.4%）

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

受講者満足度は77%、就職決定者数は5人であった。講座内容においては、目的をほぼ達成できたと思われるが、就職率は目標達成に至らなかったのが残念である。

②事業の成果及び改善点

○成果

1. W e b 技術においては一定のスキルが習得でき、成果発表会ができた。
2. W e b 系企業との連携により、県内のW e b 技術者育成への第一歩となった。
3. 本科のカリキュラムに反映できる内容であった。

○改善点

1. W e b ページ作成講座のカリキュラムは、短期間でボリュームがあったため、もう少し余裕を持たせた時間割にするとよい。
2. 今回は個人サイトの作成だったが、時間的余裕があればグループ作業も実施したほうがより実務に近いと思われる。

③次年度以降における課題・展開

W e b ページ作成講座のカリキュラムは、今後若年者向けの講座を開設する際に活かせるとともに、本科のカリキュラムに反映していく。また、キャリア支援の教材や指導内容は学生や社会人講座に活かせるよう見直し工夫する。

④成果の普及

1. W e b 系企業との連携により、今後も県内のW e b 技術者育成に貢献する。
2. 本校のカリキュラム作成に反映する。